

みあさづくり



3年ぶりの運動会に 500人が結集

美麻小中学校・みあさ保育園・美麻地区運動会が6月4日、青空の下、美麻小中学校グラウンドで行われました。合同で行う運動会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶり2回目の開催でした。

前半は、紅白にわかれた美麻小中学生が、竹取り合戦や玉入れて競い合うとともに、練習してきた華麗で力強いダンスなどを保護者等に披露。みあさ保育園児もかわいい踊りを見せました。

後半は、小中学生や園児が分館ごとにわかれ、保護者や地区住民の皆さんと一緒に競技を実施。子どもたちは、「美味しいものゲット（パン食い競争）」をはしゃぎながら楽し

み、大人の皆さんは、綱引きなどで地区の団結力を競いました。

美麻小中学校の山岸澄雄校長は「みんなが頑張っている姿を見て感動した」、実行委員長の細井忠美麻公民館長は「コロナ禍で制限がある中でも地域の皆さんが交流できて良かった」と話しました。



Miasa Community Design since 2006



ホームページ
美麻Wiki



facebook



QRコードを読んでパソコンや
スマホでもご覧ください。

<http://miasa.info/>

<https://www.facebook.com/miasawiki>





子どもたちの運動会に取り組む姿はいかがだったでしょうか？1人ひとりがそれぞれの色を輝かせた運動会になったと思います。

●生徒の感想から

。運動会は、今まで頑張ってきたので、とても達成感がありました。選手宣誓のときはとても緊張したけど、成功して良かったです。この経験を大切にして、今後につなげていきたいです。

。地区合同での運動会は、3年ぶりの開催でした。美味しいものゲット、孫と一緒に長い人生など、たくさんの地区の方と和やかに楽しい時間を共有できました。子どもたちにとってとても良い経験になったことと思います。

(令和4年度学校運動会スローガン)

9
8
人
9
8
色

。なかよし班リレーで6班が1位をとりました。うれしかったです。そして、地区運動会もたのしかったです。

。運動会では、特に班対抗リレーを頑張りました。結果は2位でしたが、先輩との距離を縮められたので、けっこう嬉しかったです。ソーラン節では、腰を低くすることを意識して踊りきれたので良かったです。結果発表のときは、引き分けと聞いてすごく驚きました。確かにどっちが勝つのかは予想できなかったけど、さすがに引き分けなんて本当にあるのだなあと思いました。次は勝てるようにチームで力を合わせて頑張りたいと思いました。

(文責 志水宏靖)



楽しかったね、運動会！

6月4日、さわやかな晴天に恵まれ、3年ぶりに地域の方もいっしょに運動会を行うことができました。

入場行進は緊張で固まっていたましたが、障害物競走ではバーを飛び越え、フープをくぐり、自分のこいのほりを拾うことができました。お兄ちゃんお姉ちゃんたちと同じ距離でも、最後まで走れました。玉入れは、どうやって投げたら入るのかを自分なりに試して練習してきました。当日は来年1年生になる友だちといっしょだったので、たくさん入れることができ、うれしそうでした。リズムではバンドナをかぶって

ちびっこ海賊参上！年長さんは友だちと息を合わせて大旗を振りました。重かったけれど、がんばってかっこよく振りました。フラフープは、遊びながらいろいろなことに挑戦していくうちに上手になりました。4人で踊ったボンボンダンスは元気いっぱい踊りました。ボンボンが太陽に反射して、とてもきれいでした。

公民館から風車をもらったり、地域の方と競技をして、楽しい運動会になりました。

(園長 北村 幸)



草刈りボランティアお疲れ様でした（6月18日）



市道の草刈り作業を実施しました。建設業協会の皆様には市道蟻坂線を、地域づくり会議の皆様には、藤棚田・市道万中片岡線・一宇田川手線をご

担当いただき、予定したほぼ全域を完了していただきました。市道沿いの草刈りについては、本来ならば美麻支所に対応しなければならないところ、それぞれの団体のご厚意により普段管理しきれない部分等ご対応いただきました。こ

の場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。（美麻支所産業建設係）

今年も、地域環境整備事業として実施をした草刈りに参加をいただきありがとうございました。今後も自治会と連携をして集落周辺を含めて環境整備事業を行いますのでご協力をお願いします。（美麻地域づくり会議 事業部会長）

昭和50年代から継続しているボランティア活動ですが、今年も各社で協力し、晴天の中無事終了することができました。ありがとうございました。（土尻会）

地域の話題

毎月29日はお山の肉の日！

ジビエ振興会の川村さんと、ジビエ料理に挑戦している2店舗をお誘いし、4月に開催した「お山のお肉のピクニック」は鹿肉料理の出店と、犬用鹿肉の販売イベントが始まりでした。

3回目の開催となった6月29日は、初の平日開催でしたが、腕を奮ってくださる出店者や犬用の鹿肉に加え、地域木材屋さん、陶芸作家さん、木こりさんのワークショップ、朴葉餅作り、ピアノライブ等で賑わいました。

また、近隣の飲食店の方々が、鹿肉に興味を持って購入して下さい、新しいレシピ開発につながっています。

大御所和風スペアリブうどん、パイ、ミートボールカレーに加え、新作パニーニ、今後は餃

子やビビンバ、鹿ナンも登場するかも？！

平日でも来られるお客様もたくさんいますので、とにかく毎月29日開催します。

全てテイクアウトできます！



- ◆ 次回のお山のお肉のピクニック
- 7月29日（金曜日）午前10時から午後2時
- ◆ 7月29日限定特別企画
- お山のお肉のピアガーデン：午後5時から午後8時

（お問合せ） 花まめや
instagram@hanamameya
／ 080-2212-3831

ぽかぽかランドにトレーラーハウス型宿泊施設



ぽかぽかランド美麻西側の旧テニスコート跡地に、新しくトレーラーハウスを4棟設置する運びとなりました。コロナ禍において密を避けてのキャンプ気分が味わえる施設をコンセプトとし、ハウスによってはバーベキューがで

きたり、ペットが同伴できたりする露天風呂付きの施設であり、既存のぽかぽかランド美麻とは利用形態の異なる宿泊棟になります。

オープンは7月下旬を目途としていますので、地域の皆様には何かとお世話になりますが今後ともよろしく願います。

（ぽかぽかランド美麻）



タイプの異なるトレーラーハウスが4棟設置されています。

.....
 保育園の話題

世界にひとつの時計、作ったよ！

日本で初めて時計による時の知らせが行われた時の記念日（6月10日）に、腕時計をつくりました。「どんな時計にしようかな？」と考えながら、丸い紙に自由に絵を描き、段ボールに貼りました。年長さんは時計をよく見ながら、1～12までの数を丸いシールに書いて、その文字盤に貼りました。年中さんは数字の書いてあるシールを、時計とにらめっこしながら文字盤に貼っていき、時計の完成！手作り時計をはめて1日すごしました。お片付けや給食の時間を自分でセットし、本物の

時計のように使いこなしていました。「じゃーん、見て、見て！かわいいでしょ♡」、「ぼくの時計、かっこいいでしょ！」と友だちや保育士に見せ、ファッションショーも始めました。自慢の時計をつくり、ニコニコの1日でした。
 （保育士 竹村僚太）



プールびらきしたよ♪



朝からセミが元気に鳴いていた6月20日、楽しみにしていたプールが始まりました。プールあそびのやり方や約束の話聞いた後、事故やケガのないように、お酒とお塩でお清めをしました。プールがたくさんできるよう、お願いもしました。

今年初めてのプールは水温を高めにしたので、「あったか〜い！」と喜んでいました。久しぶりで少し怖がっていましたが、肩まで沈んだり、ワニやアザラシになって泳いだり

しました。スーパーボールをたくさん入れて、ボールすくい競争も楽しみました。

個人差はありますが、プールや水に触れてたくさん遊び、プールの楽しさを友だちと十分に味わい、いろいろな遊びや課題にチャレンジできるよう、ゆっくり進めて美麻の短い夏をみんなで楽しみたいと思います。

（園長 北村幸）



保護者会作業とレクリエーション（7月2日）

保護者会で園庭や園舎の周りの草刈り作業を行いました。子どもたちと一緒に滑り台やジャングルジムの周りの草とりをしたり、パパ達は刈り払い機で行いました。暑い中しっかり水分補給をしながらの作業。時折、林の中から吹いてくる風が心地よく、みんなで力を合わせ頑張りました。その後は、お楽しみミニミニ縁日を開催！ヨーヨー釣りや輪投げ、ボールすくいやお菓子の掴み取りに大喜びの園児3人。子どもたちの笑顔に、これからまた、少しずつ園の行事もできるようになればいいなと切に願う1日でした。

（保護者会 重田あまな）



ボランティア研修会を開催



5月28日に美麻スクールパートナーズ主催の「第一回ボランティア研修会」を行いました。前日の7,8,9年生の総合学習の指導をいただいたNPO 法人いわてNPO-NET サポートの菊池広人さんを講師に、ワークショップをまじえながら研修を進めました。

参加者はスクールパートナーズのボランティア、先生方や保護者、今回はCS（顧客満足）の研究者の長野大学の先生、県教委生涯学習課の主事さん、大町市の定住促進係職員、そして文科省CSマイスターさんのお二人にもご参加いただき30名あまりの参加になりました。美麻小中学校での総合学習の学び方について、みなさんで楽しみながらも真剣に有意義に研修を受けていただきました。研修会の後はスクールパートナーズ会議が行われ、美麻小中での地域学校協働活動の課題について話合いました。

（美麻スクールパートナーズ 前川浩一）

PTA作業にご協力、ありがとうございました。

運動会1週間前の5月28日、早朝から児童、保護者、先生方の他、地域のボランティアの方々にもお集まりいただき、グラウンドや学校周辺をきれいにするPTA作業を行いました。

夏が近づいて勢いを増してきた周辺の雑草を、草刈機を巧みに操る男性陣が、あっという間に刈ってくださいました。運動会の舞台となるグラウンドは、大人数で人海戦術、鎌やバケツを手に地道に草取り・石拾いを行いました。高学年の男の子達が一輪車で草を回収してくれる姿もあり、大人も子供も担当した場所で、さわやかに汗を流しました。途方もない広さに思える校庭も、たくさんの人の手

によって、みるみる整備され、安心して運動会に臨むことができました。



校庭に明るい笑い声が響き渡った運動会当日、多くの方々のあたたかなサポートをしみじみと実感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。ご協力ありがとうございました。

（美麻小中学校PTA 縫部朋美）

市民科「トレジャーハント」始動！ご参加ご協力ありがとうございました。



2年前の6年生の市民科で見つけた美麻の宝をもとに、美麻地区の活性化、人口維持を狙ったイベントを昨年計画し、今年度、いよいよ宝探しやスタンプラリーを実施しています。5月は、絶景グループの企画「謎解き宝探し in MIASA」を実施しました。

全問正解者は、15人ということでしたが、その他にも大勢の方が興味関心を持って、宝の地図を持ち帰っていただきました。参加者

の皆さんをはじめ、ポスターや宝の地図を置いていただいた事業所、特に景品を提供していただいたお店の方に感謝します。

7月4日(月)～29日(金)まで、第二弾「美麻かるた王からの挑戦状」を開催しています。地域の方からもアドバイスいただき、今回は限定した地域に先輩の作った「美麻かるた」をもとにしたクイズを置いてもらっています。詳しくは美麻Wikiをご覧ください。

美麻地区の各所で、挑戦状（宝の地図）を手に入れて、美麻地区について新たな発見をして楽しんでいただけると嬉しいです。

.....
 コミュニティ・スターの話題

二重、新行探検！



3年生は社会科で美麻の土地の様子を学習しています。また、総合学習では各地区の歴史や民話を調べ、今も残る跡地やゆかりの地に興味をもっています。6月までには、二重と新行地区を探検して、不明な地図記号の場所をたずねたり、地域の人にお話を聴いたりしています。

新行地区では、戴神社を傘木宮司さんと和田さんに案内してもらったり、中島さんの民話を楽しんだり、水車小屋など新行の謎について種山さんに質問したりして学習をしました。これからも、土地「とち」に歴史・民話の「れん」を挟んで、「とれんち」をキーワードに学習していきます。次は青具地区に行ってきます。（文責 矢口）

「なかよし集会」

2時間目の休み時間は、みんなで遊ぼう



大勢の子どもたちが体育館に来てくれます。大きい学年の人たちも来てくれて、鬼をやる等サポートしてくれます。6年生がリーダーとしてやり方を説明して指示を出していますが、みんなきちんと指示に従って楽しんでいて、ほほえましいです。全校の協力を感じます。（文責 太田）

手を差し伸べられるられる5年生に

社会福祉協議会の丸山さんから車椅子で介助する方法を教えてくださいました。介助だけでなく、介助をしてもらう体験もすることで、両方の立場でどのように感じるのか学ぶことができました。まとめの時間で丸山さんから「今回は車椅子体験をして楽しかったと思ってくれていいんです。

でも、どこかで見かけたときに手を差し伸べられる人になってほしい」というお話をいただきました。今回学んだこと・感じたことを忘れずに心にしまっておき、いざという時に行動できる人になってほしいです。

（文責 松尾）



～ふりかえりより～

・ちょっと楽しかったのと、すごくむずかしいという大変なことがわかったし、おばあさんやおじいさんがこまっていたとき助けたいと思えた。
 ・私は車いすに乗ってみて、足が不自由になった人にとって車いすは足だということがわかって、少しふんだなと思いました。あと、思ったよりできないことがおおくてびっくりしました。

福祉体験教室 6年生は手話体験

<講師>清水礼子さん…常盤公民館



「僕の名前は〇〇です。よろしくをお願いします。」を手話でどう表現するか教わると、すぐ実行して、いろいろな人を相手にやってみる子供たち。いろいろな手話をすぐに自分で試すととても意欲的な姿でした。最後に「365日の紙飛行機」を手話で

～ふりかえりより～

「おはよう」や「こんにちは」や「ありがとう」などいろいろな手話を教えてください、ありがとうございました。生活でも使ってみてみたいと思いました。ありがとうございました。

あいさつが覚えられてうれしかった。意外と種類があった。手もじ以外にもあることを知った。ちゃんと歌にあわせてできたのでとてもうれしかった。ありがとうございました。

小屋プロジェクト本格始動！！竹をゲット！！4年生



千見へ竹を採りに行きました。小屋の土壁を頑丈にするために、土壁の中に竹を入れることになりました。そこで、千見の傘木さんをお願いをすれば、竹をゲットできるかもしれないと聞き、アポを取るところから子どもたちで頑張りました。そして、ついに小屋を作るための材料をゲットすることができました。（子どもは、食べられるものに夢中でしたが、本当に食べられたのか…？）…さて！！もちろん採るだけでは、終わりません。竹の枝を落として、切っていきます。竹の枝は、竹でたたくと簡単に落とせると発見した子ども

たちは、暑い中、頑張って枝を落としました。持ってきた竹の枝は全て落とし、次は切って、割く作業になります。小屋完成に向けて、頑張っています。（文責：鳥屋心吾）



高齢者の気持ちになって (福祉体験教室)9年生



6月23日（木）に高齢者疑似体験を行いました。一人ひとりがおもちゃサポーター、ゴーグル、手袋、イヤーマフなどを装着して自分で選んだ課題に挑戦しました。

封筒をあけることから苦勞しながら課題の書かれた紙を取り出し、買い物をしてみたり、折り紙をしたり、階段の上り下りもしてみました。終わって装着物を外すと、「ああ、世界ってキレイだなと思いました」という一言も。高齢者の見ている世界を体験し、改めてどうサポートすればいいか考える機会になったようです。（文責 森川 寛）

～振り返り用紙から～

- ・みんなとどんどん変化して行って、いずれあんな感覚になると思うとすごく不思議な気持ちになった。体験が終わると、体が軽くなって若返った！と思った。
- ・高齢者の体力が少ないのは、筋力が少ないのもそうですが、1つひとつの動きに体力を使うからってことを知りました。自分から高齢者のサポートができればいいなって思います。
- ・高齢者との接し方は、よく相手のことを見て、辛抱強く手助けできることなんだなあと思った。

♪なしの木クッキー屋♪

なしの木では、生活単元学習として『なしの木クッキー屋』を6月に開店し、週1回職員室の先生方に販売を行ってきました。生地作りでは正しく材料を計量し、型抜きは丁寧にやることを心がけています。また、協力してラッピングをしたり、パソコンでポイントカードやチラシを作ったりするなど、得意なことを生かして準備を進めました。週ごと販売の当番を決め、おつりを間違えないように一人ひとり計算を頑張っています。

7月の参観日の際にも、多くの方にクッキーを買っていただきありがとうございました。お店でのやりとりを通して、丁寧な言葉づかいを心がけたり会計の仕事を担当したりするなど貴重な経験ができました。

販売で得た売り上げは、今後の活動に必要な物を購入したり校外学習に出かけたりするなどの学習活動に使わせていただきます。また参観日等で販売したいと思いますので、ご協力よろしくお願ひします。（なしの木2組担任 塚田佳寿美）



早く食べたい ～朴葉巻き体験～



6月14日(火)の1～3時間目に、朴葉巻き体験をしました。講師の鈴木さんのお話だと、今年で8年目になるそうです。

今回も6名ものボランティアの方にご協力をいただき、各班に入って指導していただきました。

子ども達は作り方を教えていただきながら、どんどん作っていきました。最初は粉に水を入れて捏ねましたが、1年生と2年生が一緒になってこねている班もあり、ほほえましく思いました。中には、生地の方にあんこをぬって、オリジナルのもち?を作っている班もありました。朴葉を蒸し終えて蒸し

器の蓋を開けると、一気に朴葉の香りと湯気が立ち上り、「わぁっ」と声を上げた子もいました。

3時間目は、ボランティアの方と一緒に朴葉巻きをいただきました。おいしくて2個食べた子もいました。子ども達はとても満足そうでした。

2年生は、使った椅子を片付けたり、調理室の床の雑巾がけをしたり、流しのごみをとったり、よく働いてくれました。また、成長している姿を見ることができて嬉しかったです。

(文責 2学年担任 松澤 享)

1年生 湯の海へさんぽ

こんなところに、水が流れている。あっ、動物の足あとだ!!タヌキかな??



こんな崖道でもへっちゃらだ。がんばって登るぞ!!



ここの草原、ちょうがいっぱいとんているよ。やったあ、捕まえた!これ、ウスバシロチョウっていうんだ。



桑の実がある!! 甘くておいしいね。いっぱい取ってジュースにしよう!!

みんなでつくる みあさの みらい プロジェクト事業が始動！



一昨年に策定した美麻地区振興計画（大町市過疎地域持続的発展計画）を実現するため、今年2月に補助申請していた「みんなでつくる・みあさの・みらいプロジェクト事業」が、過疎地域集落ネットワーク圏形成支援事業（総務省）に採択されました。

7月5日に一般社団法人地域づくり美麻の臨時総会を開催し補正予算と運営体制の強化を行いました。この事業では、

- ① ローカルツーリズムの推進
- ② 移住定住の促進
- ③ 特産品の開発
- ④ 生活支援サービスの提供
- ⑤ 有害鳥獣対策
- ⑥ 遊休荒廃地の再生
- ⑦ 地域人材の育成
- ⑧ ICTの活用

等を通じて、住民が運営する小さな拠点の形成を進めていきます。それぞれの事業については、随時ご案内しますので、興味、関心のある事業がありましたら、ぜひご参加ください。

しなのおおまちワーキングホリデー 今年のお受け始める（美麻支所）



美麻支所では、しなのおおまちワーキングホリデー「むらの暮らしコース」の今年のお受けを開始しました。この事業は、総務省の「ふるさとワーキングホリデー」制度を活用したもので、都市住民等に就業・ボランティア・生活体験等の提供を通じ地域活性化を図ることを目的としています。昨年度から、美麻地域づくり会議をはじめ、地域の皆さんなど大勢の方からご協力いただきながら取り組んでおり、今年は事業拡充を目指しておりますので、益々のご理解ご協力を何卒お願いいたします。

さて今回、5月30日から6月5日まで7日間の日程で、山梨県からお越しの大学生の赤池友吾さんをお受けしました。赤池さんは昨年に続いて、

今回2度目となりますが、地域づくりに大変興味があるそうで、この「ふるさとワーキングホリデー」制度が美麻地区の地域づくりにどんな役割を果たしているかを、実践されている皆さんからお話を聞くという目的で参加されました。

滞在中は、美麻小中学校の親子レクレーションのお手伝いに参加し、地域の皆さんとも交流することができました。関係の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

赤池さんからは「今回も新たな発見や美麻の良さを見つけられた滞在でした。今回の結果は卒業論文に大いに活用し、完成した論文は自分の足で届けにきたい。」と聞いています。完成を楽しみにしております。（美麻支所）



大北公民館大会が美麻で開催

大北地区の公民館関係者や地域住民、約90人が一堂に会し、第53回大北公民館大会が7月2日、美麻地区を会場に開かれました。前半の美麻小中学校での講演会には、元美麻



小中学校長の塩原雅由さんが登壇。大北地区で唯一の小中一貫教育学校、コミュニティ・スクール、小規模特認校制度を取り入れた美麻小中学校の移り変わりや教育方針等をスライドで解説し、教師や子どもたちに起こった“変化”について話しました。

後半では、参加者が各コースにわかれ体験活動を実施しました。コースは美麻地区にゆ

かりのある店舗等で、マルコメ美麻高原蔵での「味噌作りと味比べ」、農園カフェ ラビットの「ジビエ料理」、美麻珈琲の「おいしいコーヒーの入れ方」の3つ。参加者は思い思いに体験を満喫しました。

味噌コースに参加した小学2年生の松下愛樹ちゃんは「いろいろな味噌の味見ができて楽しかった」、ジビエコースに子ども4人を連れて参加した小淵美紀さんは「鹿肉を始めて調理して食べる子どもたちにはとても良い体験になった」と話していました。

(美麻公民館)



メンドシーノとZoomで交流！

5月25日の英語の時間にメンドシーノK8スクールの皆さんと交流しました。少人数で会話のやりとりをしたい！という願いから、食事、日常生活、学校生活の3グループに分かれて行いました。また校舎の様子をタブレット端末で紹介したり、What is your favorite movie / singer? (あなたの好きな映画/歌手は?) などと最近の流行をたずねたり、What is your today's lunch? (今日のお昼ご飯は?) など日常生活のことを聞いたり、英語で、しかもリモートとという、難しさもありまし

たが、身振り手振りを交えなんとか伝えようとする姿や、わかった喜びを実感する姿がとても素敵で、伝えたい、受けとめたいという気持ちが何よりもコミュニケーションの原動力になるのだと、改めて感じました。



今回の交流事業は、ZOOMというテレビ会議システムを使って行われました。

連載

美麻の口碑伝説

～語り継ぐ郷土の心～

十三



隣には、道祖神や庚申塔がある。



向公民館の西隣に祀られた蚕玉様。4月の第1日曜日に祭りが行われている。

※「蚕玉様」

・・・地域の人々が繭の豊作を祈って祀った。

二重地区の向と元の関の間に高い丘がある。この辺りに昔、城があった。この城にまつわる詳しい話はわからないが、一説には仁科氏の残党がここに逃れてきて、住みついたとも言われている。戦国時代の末期、武田勢と上杉勢が戦った時、この城も攻め落とされたとはいわれている。

また、東の小高い丘の上には、蚕こ玉だま様を祀ってある。現在は祠も朽ち果て見る影もないが、祠のあった場所と思われるところに小さな石碑が立っている。蚕玉様は今では向集落の公民館の西隣に移されている。

(美麻村誌、郷土誌稿より)

二重の古城

(今回は、二重の話)

新会員の紹介

～ 一緒に地域づくりをする新しい仲間を順次紹介します ～

保育室マリア (認可外保育施設 令和4年7月長野県届出)

■保育室マリア活動案内 ～わらべうたとお散歩のある暮らし～

雨の合間に差し込む日差しに初夏の訪れを感じるこの頃。お陰様で6月から美麻二重宮村にある古民家の一室で保育室をスタートしました。

雨の日にはてるてる坊主を作ったり、かっぱを着てお散歩もします。雨の日の子どもたちの笑顔の輝きはなんとも言えず、雨の音、生き物たちとの触れ合いを楽しんでいました。

ご近所の方々にも見守られ、子どもたちは安心して一日を過ごしています。地域の皆さまにも愛される子どもたち。とても嬉しく、有難く感じています。自然豊かなこの土地で一緒に子育てしませんか？

お気軽にお問い合わせください！

■お問合せ先

保育室マリア代表 石川真由 (子育て支援員・3児の母)

090-5833-6399



※認可外保育施設の利用方法等は、長野県のホームページでご確認ください。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kodomo-katei/kyoiku/shien/hoikujo/ninka>

源流美麻太鼓 新メンバー募集のお知らせ



皆さんこんにちは！源流美麻太鼓の会です。地域の皆さんにはいつも大変お世話になっております。私共は平成元年発足、

今年33周年を迎えました。大町市と合併後も先輩方の想いを引き継ぎ活動を継続、現在は大人メンバー8人子供メンバー11人で活動しています。

時代は変わり現在は移住者のメンバーが8割を占め大町市内からも4人のメンバーが加入しています。主に市内外のイベントや祭に出演し地域の盛り上げ役として頑張っています。コロナ前の2019年には日本太鼓ジュニアコンクール長野県大会で3位入賞という成績を収め、2021年中日本ジュニアコンクールに長野県代表として出場し

ました。和太鼓を通じて子供も大人も心身共に鍛え地域愛を育む場として楽しんでいます。親子で頑張っているメンバーも多くなります。

さて源流美麻太鼓は今後もさらに活動を盛り上げていく為、新メンバーを募集しています！体力向上にストレス発散に、又地域の交流の場として和太鼓始めてみませんか？見学、体験はいつでも可能です。ぜひお気軽にお声掛けください！

練習場所：大町市美麻公民館講堂

練習時間：毎週水曜日 19:00～21:00

(小3 未満は原則午後8時まで)

現在打ち手は年長さん～50歳まで加入しています。上限はありません！

お問合せ：源流美麻太鼓会長 保科充志
 a-hossy@miasa.ne.jp 090-4464-8993 まで



応募期限 令和4年8月8日(月)

美麻地域づくり会議と一般社団法人地域づくり美麻では、特産品等を販売するキッチンカーのデザインを募集します。

車体をキャンバスに、オリジナルの図案や写真で美麻地区を広くPRできるデザインをしてください。

デザイン作成上の注意

すでにあるイラスト、写真、デザイン等の使用や模写をする場合は、必ず許可を得たもの(商用利用を含む)を使用してください。

作成いただいたデザインの使用については、主催団体に帰属するものとします。

◆応募方法

専用応募用紙にデザインして、①事務局に郵送・持参するか、②電子メールで送ってください。

応募用紙は、美麻地域づくり会議事務局にあるほか、ホームページ (<http://miasa.info>) からダウンロードできます。
データで提出する場合は、JPEG、PNG等の形式(画質は300DPI以上)としてください。

◆表彰

特選1点、入選3点を表彰します。(結果はホームページで発表します。) ※ 受賞作品のアイデアはキッチンカーのデザインに活用させていただきます。

◆副賞

【特選】この夏! ほかほかランド美麻にオープンする「美麻ベース(トレーラーハウス型宿泊施設)4名様宿泊券」&「美麻地区の特産品詰め合わせ」

【入選】「美麻地区の特産品詰め合わせ」

美麻地域づくり委員を委嘱

大町市は6月7日、美麻地域づくり委員会の委員14名を委嘱しました。地域づくり委員会は、市民と行政が共に手を携え持続可能な地域社会の形成に向けて、市民の意見を市政に反映させるために美麻地区、八坂地区に設置しています。委員の任期は2年間です。



	(氏名)	(地区)	(選出区分)
(会長)	細井 忠	大塩	大塩自治会選出
	竹内 稔	大塩	//
	小林 敏文	二重	二重自治会選出
	後藤 ひろ子	二重	//
(副会長)	和田 義明	新行	新行自治会選出
	北沢 ふみ代	新行	//
	伊藤 稔	青貝	青貝自治会選出
	若林 きみ子	青貝	//
	傘木 則興	千見	千見自治会選出
	北原 登	千見	//
	赤坂 隆宏	大塩	識見を有する者 (八坂美麻学園山村留学センター代表)
	八木 真紀子	大塩	識見を有する者 (美麻小中学校PTA副会長)
	早川 安希子	青貝	公募委員
	保科 充志	大塩	公募委員

「美麻地区敬老会」について

今年の敬老会につきましては、実行委員会と協議の結果、新型コロナウイルス感染症のリスク等を考慮し、中止とさせていただきます。

なお、ご対象の皆様へ、9月の中旬から下旬にかけて、お祝いの記念品などをお届けさせていただきます。何卒ご理解をお願い申し上げます。(美麻地区敬老会実行委員会)

夏の交通安全やまびこ運動

7月22日(金)から7月31日(日)まで夏の交通安全運動が行われます。行楽シーズンを迎え、交通量が増える時期です。子供や高齢者、歩行者など、交通弱者を守るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を心掛け、交通事故を防止しましょう。

(交通安全協会 美麻支部)

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info